

外来研修

長崎外来医療教育室

室長 泉野浩生

「外来力」を身につける

プライマリーケア
外来研修
(一般外来)

救急外来研修

一般外来研修は「必修項目」

- 一般外来での研修については、ブロック研修または並行研修により、4週以上の研修を行うこと
- 総合診療科、一般内科、一般外科、小児科外来を想定
- 大学病院には一般外来診療が可能な場が少ないため、基本的には**地域医療**の研修など、**協力型病院**で一般外来のブロック研修が行われることを想定

一般外来研修は「必修項目」

地域外来 10回以上

センター外来 10回以上

センター外来 最低 5回

大学病院外来

長崎大学病院



研修医 指導医



研修医が指導医（センター専任教員）と共に市中病院で診療を行います。

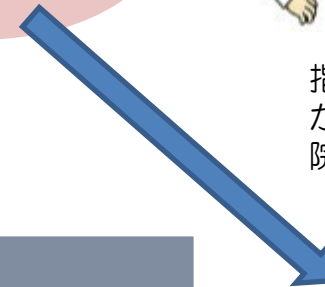
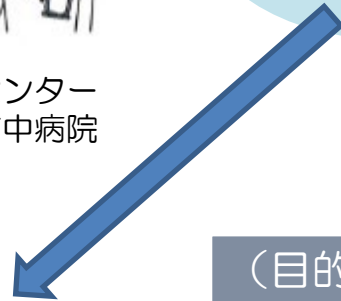
プライマリケア
外来研修

救急外来研修

研修医 指導医



指導医（センター専任教員）が研修医と共に輪番の市中病院で救急の診療を行います。



市中病院 一般外来

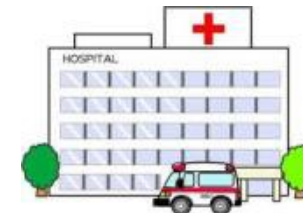


- ・ 済生会長崎病院
- ・ 長崎県島原病院
- ・ 長崎記念病院
- ・ 柴田長庚堂病院
- ・ 長崎県上五島病院
- ・ 光晴会病院
- ・ 石坂脳神経外科

（目的）

1. プライマリケアの外来診療能力をあげるために、指導医からマンツーマン指導を受ける。
2. 地域における医療の実情を、実際に体験する。

市中病院 救急外来



- ・ 済生会長崎病院
- ・ 長崎記念病院



高度救命救急センター救急外来研修

- 重症患者の救急初療と病棟管理を学べる
- 全身管理と急変対応を学べる
- 3次救急で「立ち尽くさない」外来診療に慣れる
- ロータート中に**2次輪番**病院での救急外来当直研修
- 済生会長崎病院(月3回)：一般内科と一般外科
- 長崎記念病院(月1回)：一般外科（＋地域医療研修）

研修先 指導医一覽

	曜日	研修先	指導医名	集合時間	集合場所	帰院時間	備 考
プライマリケア外来	月	長崎記念病院	濱田 久之	8:40	個別に案内	12:45	
	月	光晴会病院	大塚 絵美子	8:30	病院地下	13:00	
	火	長崎記念病院	松島 加代子	12:40	病院地下	18:15	
	火	島原病院	塩田 純也	7:40	病院地下	14:40	
	火(1.3.5週)	済生会病院	古賀 智裕	8:30	済生会診察室	13:00	※現地集合 ※バス代相当助成
	水	長崎記念病院	濱田 久之	12:40	病院地下	18:15	
	水(2.4週)	済生会病院	松島加代子	8:30	済生会診察室	14:00	※現地集合 ※バス代相当助成
	木	長崎記念病院	今村 圭文	12:15	病院地下	18:15	往復タクシー単独移動
	木	済生会病院	濱田 久之	8:25	済生会病院	14:00	※現地集合 ※バス代相当助成
	木(1.3.5週)	柴田長庚堂	松坂 雄亮	12:15	病院地下	18:30	往復タクシー単独移動
	木(2.4週)	光晴会病院	松坂 雄亮	13:20	病院地下	17:30	往復タクシー単独移動
	木	済生会病院	梅田 雅孝	12:20	病院地下	17:30	往復タクシー単独移動
	金	長崎記念病院	濱田 優季	12:20	病院地下	14:00	往復タクシー単独移動
	不定期	石坂脳神経外科	石坂 俊輔	7:34	浦上駅前 バス停	15:30	高速バス
救急外来	不定期	長崎記念病院	泉野 浩生	※個別に案内	長崎記念病院 2階 医局	※個別に案内	往復タクシー単独移動
	不定期	済生会病院	泉野 浩生	※個別に案内	済生会 救急処置室	※個別に案内	※現地集合 ※バス代助成

※上記にかかわらず、『事前案内』が優先致します。必ず『事前案内』を確認する事！

外来研修＞診療科の業務

8週間前

- ・該当タームのスケジュール作成
(研修医室に掲示します)

4週間前

この期間に提出された年休・出張（学会参加など）は考慮します。それ以外は不可。

当日

- ・どうしても交代しないといけない場合
交代理由と交代要員を添えて私（泉野）に申請
※申請までの外来研修達成度とNポート入力率が90%以上を条件とします

事前準備

2週間前まで

外来研修の予定を確認

1週間前まで

ローテート中の**指導医に各自で**伝えておく
「この日はいません！」（早い方がいい）

前日まで

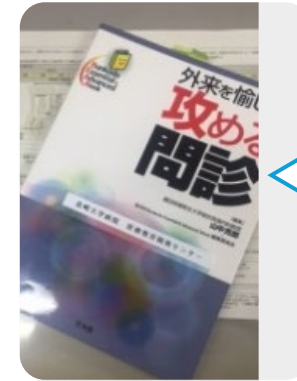


1. **予習**を必ずしておくこと

『研修医のための外来必携 1 & 2』
Kindleで必ずダウンロードしておく

2. **事務（高島さん）**に二礼二拍手しに行くこと
集合時間、場所を教えてください

3. **持っていくもの**を確認しておくこと



こちらも
事前予習に
おすすめ
（研修医室
の本棚）



白衣 (スクラブ)、聴診器、マスク、
ペンライト、名札、印鑑、iPad、
筆記用具、メモ帳、水分

必携 2 の総論は覚えてくること

処方集(外来必携の最終ページに貼ると良い)





いよいよ当日！！

当日のカキクケコ

か
き
く
け
こ

勝手に検査・処方をしてない（ハウレンソウ）

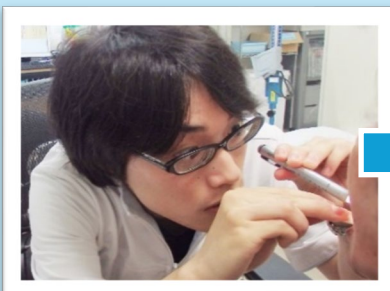
きたない格好はだめ（患者さんが嫌がります）

クレームが来たらすぐに指導医に報告

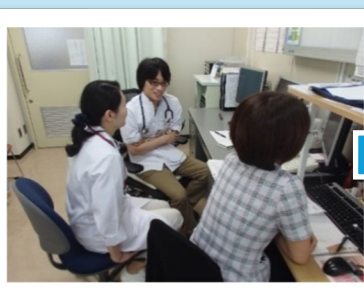
研修だけど見学じゃない（仕事です、**時間厳守！**）

言葉遣い、気をつけて（患者さんは家族じゃない）

外来診療の流れ



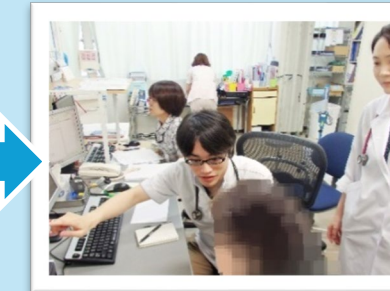
患者さんを迎えて、
まずは研修医が一人
で問診と診察を行う。
(看護師、クラーク
などの同席を基本)



一旦、患者さんを
診察室の外へ。



検査結果を見ながら、
指導医と共に最終的な
診断をする。



再び患者さんを迎え
入れて診断結果を
伝える。処方箋に
ついての説明も行う。



電子カルテに記載。
病名の登録。

研修医はカルテに
<以上、Dr * *と共に記載>
と必ず書く。
指導医は承認する。

研修中

- 内科検査
- 造影X線検査
- 血液型判定
- 尿検査
- 細胞診・病理組織検査
- 肺機能検査
- 核医学検査
- 経路検査
- 診断書
- MRI検査
- X線CT検査

送信 元に戻す

Nポートに経験した
症候・経験すべき
疾患を入力する。

研修中のアンケート

研修医の経験: 研修医が経験する症候・経験を記入してください。

【研修医の経験】 最もよく経験した症候・経験を記入してください。経験度を記入してください。

1 2 3 4 5
○ ○ ○ ○ ○
経験していない 経験している

研修医の経験: 指導医が経験する症候・経験を記入してください。

【指導医の経験】 最もよく経験した症候・経験を記入してください。経験度を記入してください。

1 2 3 4 5
○ ○ ○ ○ ○
経験していない 経験している

研修医の経験: 研修医が経験する症候・経験を記入してください。

【研修医の経験】 最もよく経験した症候・経験を記入してください。経験度を記入してください。

1 2 3 4 5
○ ○ ○ ○ ○
経験していない 経験している

続けてNポートに、
研修のアンケートを
入力する。

入室～導入

「おはようございます。本日担当の◎です。後で指導医の★先生が来ますので、それまでお話と診察をさせてください。」

⇒すぐに「今日はどうしましたか？」もしくは「〇〇ということですね？（問診票のある場合）」

丁寧な言葉遣い、2割増しの声量で、目を見て話す

万が一、診察を受けたくない患者さんの場合は看護師に相談、他の医師に診てもらおうようにする

問診

時間を確認、意識しましょう（**最長でも 15 分**）

最初の 2 ～ 3 分は、**Open Question**

- ときどき顔を見てカルテ入力／メモ
- 次のClosed Questionを考えながら、主訴・現病歴を要約

次の 2 ～ 3 分は、**Closed Question**

- 問診票があるときはいきなりClosedも許容
- 現病歴を深め、既往歴・服薬・家族歴・生活歴…

診察

時間を確認、意識しましょう（**最長でも 5 分**）

Top-to-Toeで診察する時間はあまりない

- 主訴を考えながら診察
- おすすめはシステムレビュー

基本 1 人で診察せず、看護師さんについてもらう

- 性別や親への配慮

診断～説明

患者さんには「ちょっと待ってください」と伝えて指導医に報告

- ショートプレゼン：鑑別、診断、プラン

「お待たせしました。指導医の★先生と診ますね」

- 診察の確認や検査オーダーをする
- 「一旦外でお待ちください」の後にオーダーしても良い

検査なしで処方して帰す場合、勝手に帰さない（指導医と）



挨拶と態度が 重要

看護師、技師、医療事務など
教えてくれる人はみんな「師」

挨拶は基本

学ばせていただく

外来研修で大切なこと

1

病名を登録する

2

Nポートを入力する

3

アンケートに答える

Nポート & アンケート

- 経験した症例・症候・手技の登録
- 今日の振り返り
- 指導医からの評価

※これが90%以上入力されていないと

外来研修の変更は認められません

- PG-EPOC、症例登録にも利用可

- アンケートの回答を元に、協力病院の指導体制を日々見直しています

研修中

患者

1 06:03 男性 40歳

総合

- + 5.発熱
- + 7.頭痛
- + 29.終末期の症候
- + 食欲不振
- + 全身倦怠感
- + 不眠
- × 診療録
- × 2.体重減少・るい痰

送信

◇長崎大学病院 外来&救急研修 アンケート◇

研修日：令和 年 月 日

研修医名：

※研修医は 遅やかに、グループフォームで
回答する。本研修に加入して、研修医に
選んでください。

研修病院はどこでしたか？

指導医は誰でしたか？

《指導医の評価》 ※当てはまるものに✓を入れて下さい

- ① 研修医が学びやすい雰囲気づくりをしてくださいましたか。
(説明)【教育者の態度】話をよく聞いてくれたり、積極的に参加させてくれたり、疑問点を引き出してくれたりしたなど
しなかった ← 1 2 3 4 5 → してくれた
- ② 指導するための教育的な知識を持っていましたか。
(説明)【教育者の知識】臨床研修制度の知識、診療科における研修医の役割、研修医のレベルに応じた指導など
持っていなかった ← 1 2 3 4 5 → 持っていた
- ③ 指導のための、フィードバック技術を有していましたか。
(説明)【教育テクニック】適宜にコメント、褒めて育てる等の教育技法(PNF)の実践、タイムリーに心に響く指導があったなど
持っていなかった ← 1 2 3 4 5 → 持っていた
- ④ 医学的知識を教えてもらえましたか。
(説明)【基本的知識】基本的知識をしっかりと教えてもらえた。または、専門的知識を、興味があるように教えてもらえた。
もらえなかった ← 1 2 3 4 5 → もらえた
- ⑤ 医学的技術を教えてもらえましたか。
(説明)【基本的技術】基本的技術を学んだ・習得した。または、専門的技術を見て聞いた・習得した。
もらえなかった ← 1 2 3 4 5 → もらえた
- ⑥ ロールモデルとなる指導医でしたか。
(説明)【自分の憧れる先生】将来あんな先生になりたい、尊敬できる先生であったなど